

尖閣地図に中国呼称

政府、グーグルに削除要求

米ＩＴ大手グーグルによるインターネット上の地図サービス「グーグルマップ」で、沖縄県・尖閣諸島の表記に中国や台湾で使われる呼称が併記され、日本政府が削除を求めたことが分かった。松野博一官房長官は20日の記者会見で「わが国の立場を申し入れた」と述べた。20日時点では尖閣諸島とのみ表示されている。

外務省によると、19日には

「尖閣諸島」の表記に加え「釣魚島群島」「釣魚台列嶼」と示されていた。同省はグーグルに対し、尖閣が日本固有の領土であることは歴史的にも国際法上も明らかで、日本が有効に支配していると説明した。

グーグルマップの尖閣表記を巡っては、2010年にも「釣魚群島」「釣魚島」と中国側の呼称が併記され、外務省が削除を求めた経緯がある。